

令和6年度秋季 北陸新幹線福井・敦賀開業企画

生誕150年記念 菱田春草展

不朽の名作《落葉》誕生秘話
企画書

令和6(2024)年9月15日(日)～11月4日(月)

<前期>: 9月15日(日)～10月14日(月)

<後期>: 10月17日(木)～11月4日(月)

※10月10日(木)(半期)に一部展示替え

※10月15日(火)、16日(水)展示替え



岡倉天心の薫陶を受け、明治を代表する画家と目されながらも夭逝した菱田春草
彼の生誕150年を記念し、重要文化財を含む《落葉》5点を一堂に展示します
さらに琳派の作品、近代を代表する樹木図を併せて紹介し、
近世から近代までの樹木図の系譜を顕彰する《落葉》の大展開会を開催します

重要文化財
4点展示



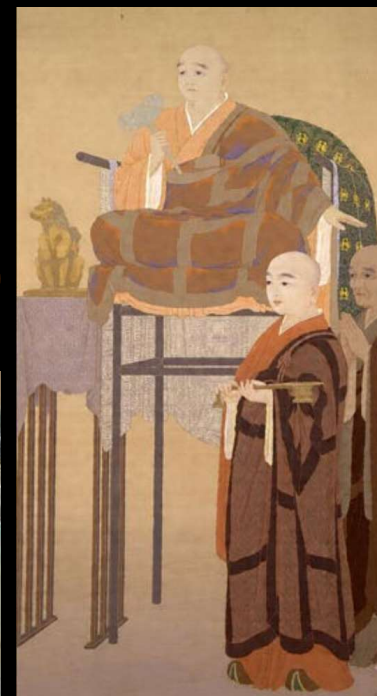
重要文化財
4点展示



重要文化財
尾形光琳《檜楓図屏風》
江戸時代（18世紀）
東京藝術大学美術館

10/10
~
11/4

後期



重要文化財
菱田春草《賢首菩薩》
明治40(1907)年
東京国立近代美術館

前期

菱田春草の現存《落葉》5点
史上初！30日間同時展示！！

重要文化財
菱田春草《王昭君》
明治35(1902)年
善寶寺



重要文化財
菱田春草《落葉》
明治42(1909)年
永青文庫

Ⅰ 《落葉》に至る道程

東京美術学校（現・東京藝術大学）で学び、岡倉校長の指導のもとで「朦朧体」をはじめとした実験的
制作を行った画業初期を重要作品で概観し、人物像から《落葉》へと至る道程を辿ります。

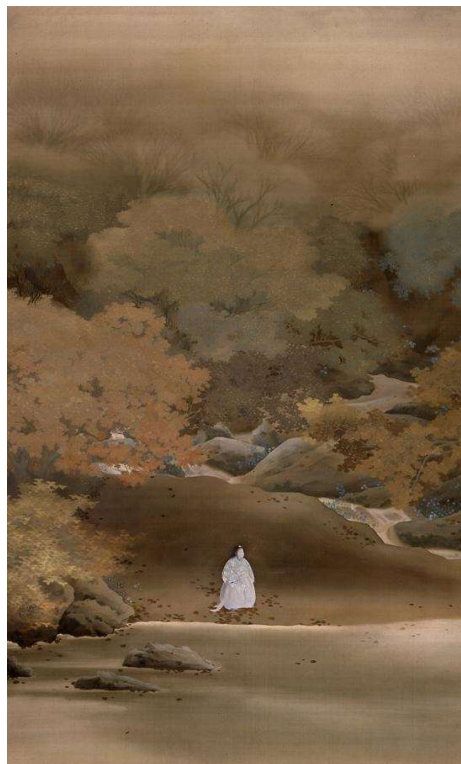
《武蔵野》



重要文化財 《王昭君》



長野県宝 《菊慈童》 重要文化財 《賢首菩薩》 など



II 《落葉》 誕生

●菱田春草《落葉》が5点揃う機会は10年ぶり、
かつ30日間の展示は全国初

参考：東京国立近代美術館（2014年）19日間、愛知県美術館（2003年）16日間

重要文化財《落葉》を含む連作《落葉》5作品を一堂に展示し、制作時の写生帳、関連作品を紹介することで、写実性による距離の問題に取り組み、装飾性を取り入れることで「画の面白み」という新たな課題を見出した《落葉》誕生に迫ります。

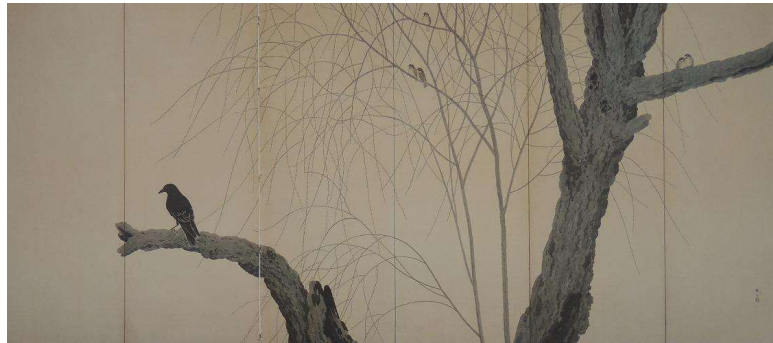
《落葉》（滋賀県立美術館蔵、個人蔵、茨城県近代美術館蔵、永青文庫蔵（重要文化財）、当館蔵）



III 《落葉》を経て

《落葉》での成功を経て、写実と装飾を取り合わせた更なる芸術の確立を追い求めた春草は満36歳という若さで夭逝してしまいます。「終生不熟」と評され、名声に甘んじることなく模索を続けた春草晩年の境地を追います。

《鹿》 《雀に鴉》 など



IV 自然を描く～花木図の変遷～

一 菱田春草周辺画家の樹木図変遷～琳派顕彰を中心に～

菱田春草が《落葉》を生み出す背景にあった日本美術における花木図の変遷を日本美術院における琳派顕彰と古画からの学習を中心に見ていきます。

主な作品：木村武山《小春》、堅山南風《霜月頃》など

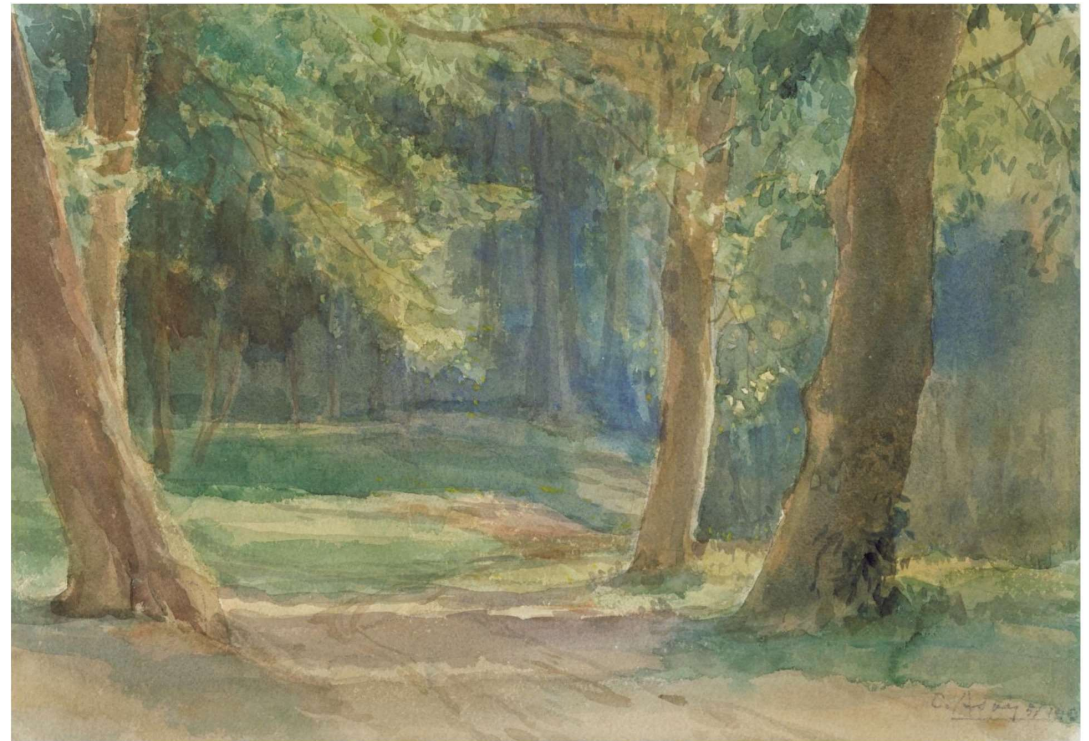


IV 自然を描く～花木図の変遷～

一 洋画壇の自然観照

洋画壇の自然観察による風景画に着目し、東洋と西洋の自然観が邂逅し生み出された近代日本画特有の自然の捉え方と表現を紹介します。

浅井忠《樹林》など



IV 自然を描く ～花木図の変遷～

一古画からの学習

近代の画家らが研究した実際の琳派作品を紹介し、近世から近代へと続く花木図の系譜を読み解きます。



重要文化財 尾形光琳 《檜楓図屏風》



伝尾形光琳 《檜槇秋草図》



円山応挙 《竹雀図屏風》